

静岡県東部地域企業経営動向調査

(2014年7-9月期実績、2014年10-12月期見通し)

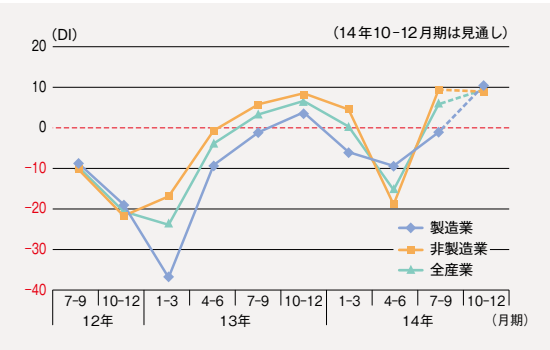
1 業況概要(自社)

DIは前期比上昇に転じる、非製造業は建設業が牽引

静岡県東部地域における2014年7-9月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で5.9(前期-15.2)と上昇に転じた。製造業では一般機械器具やパルプ・紙・紙加工品など多くの業種が改善し、DIは全体で-1.0(前期-9.3)と上昇したが、引き続きマイナスの状態にある。一方、非製造業では建設業で大幅に上昇したことなどから、全体では9.5(前期-18.8)と回復感を示している。

2014年10-12月期の予想DIは、全産業で9.5と回復傾向の持続が予想されているが、製造業で10.5と上昇感が強いのに対し、非製造業ではほぼ横ばい

の9.0となっている。



業種別天気図



(2014年4-6月、7-9月期は前期比、10-12月期は今期比見通し)

	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2014年4-6月期								
2014年7-9月期								
2014年10-12月期								

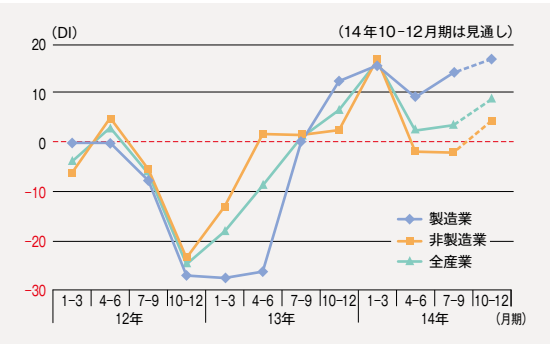
2 売上動向

製造業は上昇に転じ高い水準も、非製造業ではほぼ横ばい

2014年7-9月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は3.6(前期2.5)と若干の上昇に転じた。製造業では、一般機械器具やパルプ・紙・紙加工品で低下したが、食料品、金属製品、その他製造業での上昇に支えられ、全体では14.3(前期9.3)と上昇に転じ、高い水準を維持している。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所や建設業で上向きとなったが、その他小売・サービス業で低下した影響から、全体では-2.0(前期-1.8)とほぼ横ばいにとどまっている。

2014年10-12月期の予想DIは、全産業で8.9と上昇が見込まれている。うち、製造業では17.1と今期比

に続く上昇、非製造業でも4.5とプラス水準の回復に向けた期待感がみられる。



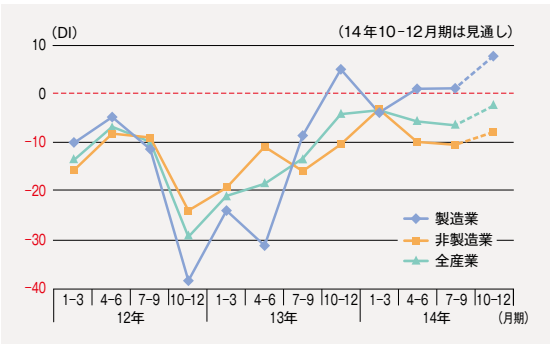
3 利益動向

DI(対前年同期比)は製造業ではほぼ横ばい、非製造業で若干低下

2014年7-9期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-6.6(前期-5.8)と若干低下した。製造業では、一般機械器具でDIが大幅に低下したが、食料品では大きく上昇、パルプ・紙・紙加工品やその他製造業も若干改善されたため、全体では1.0(前期0.9)とほぼ横ばいの水準となった。一方、非製造業では建設業がやや上向いたが、その他小売・サービス業等では若干低下したため、全体では-10.6(前期-10.0)と若干低下している。

2014年10-12月期(見通し)の予想DIは、全産業で-2.6と回復基調に転じる見込み。うち、製造業では7.6となっているが、非製造業は-8.0と上昇期待がや

や弱く、製造業との差が開いている。



4 経営上の問題点

「求人難」の回答比率の上昇が続く

「受注・売上の停滞・減少」(46.9%)の比率がさらに低下し、50%を下回った。この他でも順位は変わらないが比率は低下する項目が多く、問題点の範囲が

拡散する傾向がみられる。一方、「求人難」の回答比率は19.7%(前期15.2%)と上昇が続いており、従業員の確保が難しくなっている状況がうかがえる。

(単位:社、%)

	14年1-3月期		14年4-6月期		14年7-9月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	137	53.9	142	51.3	143	46.9	→
2. 原材料・仕入商品の値上がり	106	41.7	103	37.2	104	34.1	→
3. 人材の育成	83	32.7	99	35.7	103	33.8	→
4. 過当競争・製品安	96	37.8	86	31.0	88	28.9	→
5. その他経費の増加	53	20.9	65	23.5	71	23.3	→
6. 従業員の高齢化	64	25.2	63	22.7	69	22.6	→
7. 求人難	30	11.8	42	15.2	60	19.7	↑
8. 人件費の増加	48	18.9	53	19.1	59	19.3	→

調査の概要

- 1.調査目的／静岡県東部地域(富士川以东)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 2.調査対象企業／静岡県東部地域に立地する企業670社 回答数305(回答率45.5%)
- 3.調査方法／当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 4.調査対象期間／実績:2014年7-9月期 見通し:2014年10-12月期
- 5.調査時点／2014年8-9月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。
「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。